

3月も役立つ講座がいろいろ!

シングルマザーの会

◆3月11日(日) 13:30~15:30
 場所: 参画センター 相談室
 参加費: 無料



子育ておしゃべりサロン

◆3月8日(木) 10:00~12:00
 場所: 参画センター 学習研修室1
 参加費: 無料



摂食障がい家族の会

◆3月17日(土) 13:30~15:30
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



知ってる?

男女共同参画のキーワード

国際女性デー

毎年3月8日は国際女性デー。女性の生き方を考える日。



「女性のエンパワーメント推進と社会活性化」を目的としたHAPPY WOMAN実行委員会(事務局: 一般社団法人ウーマンイノベーション)は、国連が制定している3月8日の「国際女性デー」を日本の新たな文化行事として定着させ、女性がいきいきと生きられる社会を実現すべく、2017年に『HAPPY WOMAN FESTA2017』を渋谷ヒカリエにて開催。多くの社会的注目を集めることができた。

そして2018年度は、更に規模を拡大し、東京2会場(渋谷3月3日~8日・恵比寿)、大阪・愛知・宮城での同時開催が決定。“女性がイキイキワクワク生きられるライフデザイン”をテーマに、セミナー・ワークショップを実施。また、各商業施設や百貨店での国際女性デーキャンペーンも展開する。

国際女性デーは、1904年3月8日にアメリカ・ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、1910年のコペンハーゲンでの国際社会主義会議にて「女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱したことから始まった。その後、国連は1975年の国際婦人年において、3月8日を『国際女性デー(International Women's Day)』と制定。以後、これまでの前進を振り返り、変革を呼びかけ、国や社会の歴史上すばらし

さんかく交流サロン

「好きな詩や文章などの朗読」
 自分の好きな詩や文章を読んでみましょう!

◆3月29日(木) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室2
 参加費: 無料 定員: 10人程度



転勤者とさぬき人のはじめまして講座

◆4月26日(木) 13:30~15:00
 「高松のうまいもんと楽しいおしゃべり」

転勤で高松に来られた方、大歓迎です!
 地元の方も、ぜひ、ご参加ください!

場所: 参画センターふれあい交流サロン
 学習研修室3

参加費: 600円 定員: 40人
 託児: あり、6か月以上就学前までの子ども
 (1週間前までに要予約)



い役割を果たした一般の女性たちの勇気と決断を称える日として、世界各地でそれぞれの国の歴史と伝統に応じて、様々な働きかけが行われている。当初は「国際婦人デー」と訳されていた。国連では国際婦人年(1975)に、3月8日を国際女性デーと定めた。UN Women 設立に伴って NGO 国際婦人年連絡会、公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム、財団法人横浜市女性協会(現・公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会)の国内の3団体を中心に日本国内委員会を設けて、2011年3月に UN Women 承認の民間団体「UN Women 日本国内委員会」と名称を定める。2013年11月に団体名を「国連ウイメン日本協会」と改称し、国連に関わる団体だとわかりやすくすると、前身より継承した趣旨にそって「ジェンダーと女性のエンパワーメントのための国連機関」の理念を日本の社会に広めること、さらに関係機関や民間企業に活動の支援を働きかけ、社会に募金活動を担ってきた。

また、支援プロジェクトに当てる活動支援の拠出金は、1990年代はカンボジア(インドシナ難民)と、インド・フィリピン・モンゴルの女性の社会進出に当てられた。2000年代はラオス・カンボジア・アフガニスタン・パキスタンの女性の社会進出と東チモールをふくむ全域の女性差別・暴力撤廃に、スマトラ島沖地震津波について災害復興に、またアジア地域外のボスニア・ヘルツェゴビナでは暴力抑制と対話における女性の役割を支えている。2010年代に入ると HIV 関連プロジェクト(2000年代から継続)、難民の定住に合わせた持続的に収入を得る工芸品の製作・販路開拓、全域の女子差別と暴力撤廃(継続)、ネパール大地震では女性・少女への緊急支援などの活動に用いられたのである。

(資料: Wikipedia, Happy Woman, コトバンクより)

2月の行事から

2/10

コミュニケーション講座 アンガーマネジメントで聞き上手・話し手

参加者数: 34人 講師: 谷川由紀さん((一社)日本アンガーマネジメント協会ファシリテーター)
 同講座の要望が多く、今年度2回目の開催となった。(参加者の感想)
 「アンガーマネジメント=怒りを抑えることだと思っていたが、実際講義を聞いて“伝える技術”だと知って、より感情の伝え方に魅力を感じた」「衝動的になる前に怒りから頭を切り離すことに取組みたい」「“すべき”ということ意識することが大事だと思った」等。



2/24

男女共同参画講演会 命の重みを感じたとき~国境なき医師団の活動から~

参加者数: 90人 場所: 学習研修室全体
 講師: 黒崎伸子さん(外科医・国境なき医師団監事・前会長)
 講師は、2001年から国境なき医師団に参加し、スリランカ、ソマリア、シリア等、計11回の海外派遣で活躍。現地での活動状況などの映像、体験を伺い感銘を受けた。(参加者の感想)
 「普段身近に感じない国際問題について考えることができ、とても充実した時間を過ごせた」「当事者の方から生の声でお話いただけることで、本当に意味ある活動だと感じた。それを支える事は自分にもできるはずだと強く感じた」等。



2/15

今こそ働きたい人の準備講座 自分に合う仕事の見つけ方、求人情報の見方など

参加者数: 7人 場所: 学習研修室2
 講師: 仁賀順子さん(キャリアアドバイザー)
 自分に合った準備を学び、行動するために自己理解と仕事理解について学んだ。
 1人1分の自己紹介の後、職業興味チェックのワークを行った。これは、自分のタイプと今までしてきた仕事のタイプが同じだった人とそうでなかった人がいて、自己理解につながるワークだった。また、労働法の大事なポイントや仕事を探すうえでのそれぞれの特徴もわかりやすく説明していただき、充実した内容だった。

2/24

利用者懇談会 & 登録団体交流会

参加者数: 41人 学習研修室3
 利用者懇談会と今年度2回目の登録団体交流会を開催し、各団体の交流を深めた。(参加者の意見)
 「他団体の意見が明確だし、情報交換が具体的に良い機会だと思う」「高齢者男性が参加しやすい講座を増やしてほしい」「映画上映の時に施設の工夫が欲しい」「駐車場料が高い。講座の間は無料にしてほしい」等多数。



トピックス

県婦人団体連絡協議会生活文化展

テーマ 「春」光る 未来に輝く文化展
 ~世代を超えて地域との絆~

とき: 3月7日(水)~3月8日(木)
 10:00~16:00(8日は15:00まで)

場所: サンポート高松シンボルタワーホール棟1階
 入場: 無料

<イベント内容>

- 展示場ステージコーナー
 フラダンスショー、春コラボレーションファッションショー
- デックスガレリア
 フラワーアレンジメント、地産地消コーナー、パネル展
- 市民ギャラリー
 作品展、協力団体展、男女共同参画コーナー、チャリティーバザー
- コミュニケーションプラザ 喫茶コーナー



<ステージイベント>
 3/7(水) ◆「フラ・オ・レア」フラダンスショー
 ◆吉田愛服飾専門学校と婦人会とのコラボレーションファッションショー「春」EXHIBITION2018~おしゃれを楽しむ~
 3/8(木) ◆寸劇「観音寺見守り隊・高松木太地区婦人会」
 ◆婦人会芸能発表

